

新しい年度の始まりです。

満開の桜の下を、新たな旅立ちに胸を弾ませるピッカピカの新入園児達が駆け抜けて行きます。

肩先に舞う花びらを追いかけて、元気に走り回る子どもたち、その姿は笑顔の両親と、暖かい陽光にしっかり見守られていました。



【 乱暴な言葉・汚い言葉】

～～叱るよりも、気持ちを聞きましょう～～

幼稚園や保育園では、家とは違う言葉を沢山覚えてきます。

今までの生活がガラリと変わって、戸惑いや不安を感じると、今まで聞いたことのない乱暴な言葉を連発して、しばしば家族を驚かせることがあると聞きます。

「バカ」「死んじゃえ」等、使ってほしくない言葉を口にしたら、頭ごなしに注意するより、何故その言葉を使ったのかを尋ね、気持ちを受け止める事が大切なのだそうです。



「バカ」と言われたら、自分だったらどんな気持ちになるかな？と、相手の気持ちを一緒に考えたり、玩具を取られて思わず「死んじゃえ」と口走ってしまった子には、「その気持ちを伝えるために、ほかの言い方を考えてみようか」と、応じるのも良いかもしれません。

3・4歳位の子の場合は、意味も分からずに周りの反応を面白がって使うことが多いため、さらりと聞き流すのも、一つの手です。

「バカ」などの言葉をよく使うのは、語彙が少なく感情をうまく表現出来ないため。使える言葉が増えて、自分の思いを相手に伝えられるようになれば乱暴な言葉や汚い言葉は徐々に使われなくなるとのことなのであまり神経質にならなくて大丈夫だそうですよ！！